

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科	
科目名称	地学の世界						授業形態		
科目コード	131520	単位数	2単位	配当学年	1年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	伊東 嘉宏								
授業概要	<p>地学の基礎で学修した地学（地球科学）の内容をさらに深化させることを目指します。この授業では、岩石惑星の地球の成り立ちと地球が持つシステムを地球の表層と内部での現象とメカニズムについて学修を進めます。 人間活動の基盤として存在する地球について、これからの学修生活や社会人として少しでも役立つ内容になることを目指します。</p>								
関連する科目	「地学の基礎」を受講していることが望ましい。								
授業の進め方 と方法	<p>テキストの内容を基に、講義を主体としますが、可能な範囲で、映像資料や標本などの具体物の提示と操作活動、それらに関する質疑応答により内容の理解に努めます。また、適宜、課題を用意し、学生間での協議等による深い学びを目指します。授業の内容により、学生が自らの気づきや考えを発言する場面を構築するとともに、学生相互の能動的な活動の中で更なる深化を目指す機会を設定するように努めます。</p>								
授業計画 【第1回】	<p>太陽と恒星 恒星としての太陽、恒星の明るさ・距離・大きさ</p>								
授業計画 【第2回】	<p>銀河系と宇宙 恒星の進化と一生</p>								
授業計画 【第3回】	<p>地球の表層と内部の構造と性質 地球の成層構造、造岩鉱物</p>								
授業計画 【第4回】	<p>プレートテクトニクス 地球表層をおおうプレート、プレートの運動</p>								
授業計画 【第5回】	<p>地球の活動 1 地震と断層、地震と災害</p>								
授業計画 【第6回】	<p>地球の活動 2 火山と火成活動</p>								
授業計画 【第7回】	<p>地球の活動 3 岩石の風化と土壌の形成、堆積作用と堆積環境</p>								
授業計画 【第8回】	<p>地球の活動 4 日本列島の成り立ち、日本列島の地質構造とプレート運動</p>								
授業計画 【第9回】	<p>地球と生命の進化 1 先カンブリア時代・古生代、生命の誕生と進化、酸素の起源</p>								
授業計画 【第10回】	<p>地球と生命の進化 2 古生代・中生代、地球環境、生物の多様化、進化と絶滅</p>								
授業計画 【第11回】	<p>地球と生命の進化 3 中生代・新生代、地球環境、恐竜とほ乳類、進化と絶滅</p>								

授業計画 【第12回】	地球の気候 1 熱収支と熱輸送
授業計画 【第13回】	地球の気候 2 大気・海洋の構造と大循環、エルニーニョ、モンスーン
授業計画 【第14回】	気候変動を探る ミランコビッチサイクル、太陽黒点
授業計画 【第15回】	人類と地球環境 人類と地球の現状、地球環境問題と公害問題、人新世
授業の到達目標	地学（地球科学）の諸現象とこのことに関する知見についての理解を深めて、世界および地域の自然現象に興味を持ち、さらにその現象を自ら進んで理解しようとする意欲や態度の育成を目標としています。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外の学修 【予習】	予習として、授業内容に関するテキストの当該箇所を熟読してください。または関係する諸現象や用語等について書籍等で調べるなどしてください。
授業時間外の学修 【復習】	復習として、授業内容に関するテキストの当該内容および配布資料に関して博物館や図書館等あらゆる施設や場を積極的に活用して学修を深かめるようにしてください。
課題に対する フィードバック	授業での課題提示時および定期試験終了後に解説します。
評価方法・基準	授業での小テストやレポートおよび定期試験を総合的に勘案して評価します。
テキスト	新装版 地球学入門 酒井治孝 東海教育研究所 ￥2800円＋税
参考書	日本列島の誕生 平朝彦 岩波新書（1990年） ￥650円（本体631円）
備考	